



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)
東京都渋谷区代々木2丁目2番6号
JR新宿ビル13F 〒151-8512
電話 03-3375-5740(代)

2018年5月1日

第676号

発行人 村田俊雄 代理 編集人 中山透
月2回(1日、15日)発行/一部20円
(組合員の購読料は、組合費に含む)



JR東労組ホームページは
←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>

36協定 締結

締結期間 1年

(2018年5月1日~2019年4月30日)

JR東労組は、2018年4月期の労働基準法第36条第1項の規定に基づく時間外労働及び公休日の労働に関する協定(36協定)を4月20日までに締結することを意思統一し、各地本で申し入れ、団体交渉をおこないました。そして、期間を1年間とする協定を締結しました。

これまで36協定違反を発生させないために労使議論を積み重ねてきました。これからは「安全・健康・ゆとり・働きがい」があり、安心して働ける職場をつくっていかねばなりません。

4月27日政府は、野党が欠席する中「働き方」関連法案の趣旨説明をおこないました。以前から問題になっている「働き方改革」は長時間労働を助長し、違法な不払い労働を合法化し、過労を促進するものだと指摘されています。私たちは国会審議を注目しつつ、職場では36協定を遵守させるために、適正要員の配置や労働時間の管理など、職場の問題を具体的に解決するため労使議論をおこなっていきましょう。



第89回 メーデー中央大会

長時間労働を是正しよう! すべての仲間と連帯しよう!



「平和・人権を守り、あらゆる差別をなくそう! 働く者のための働き方改革をすすめて、すべての仲間と結集しよう!」というスローガンのもと、4月28日に開催された連合主催の第89回メーデー中央大会に、4万人(主催者発表)が結集、JR東労組として約120名が参加しました。

メーデー中央大会会場である代々木公園に向けて、JR総連・JR東労組は新宿中央公園からデモ行進をおこない、「労働法改正反対!」「戦争反対!」「9条守れ!」「原発いらない!」などを訴えました。

長時間労働の是正、賃金の改善、労働者の地位・労働条件向上、平和な社会を求める労働者の声はいつの時代も変わりません。私たちはこれからも、すべての仲間との連帯を強化して要求実現に向けて進んでいきます。

1886年5月1日に米国の労働者が1日10時間を越える長時間労働から1日8時間労働を求めてストライキに立ち上がったことを起源としています。

日本では1920年(大正9年)5月2日に上野公園で初めて開催され、多くの労働者が参加しました。しかし、治安維持法の下で労働運動は弾圧され、日本が戦時体制となり、1936年(昭和11年)の「二・二六事件」が起きたことを契機にメーデーは禁止されました。第二次世界大戦後、労働組合の復活と共にメーデーは再開され、今に至っています。

メーデーとは

第36回定期大会

日時 2018年6月13日(水) 10:00~18:00

場所 さいたま市文化センター 大ホール

現在のJR東労組の組織現実を受け止め、第36回定期大会は1日での開催といたします。みなさんのご理解とご協力をお願い致します。

大会の成功に向けて、組合員が主役のJR東労組運動を推し進めよう!



4月に転勤になり、仕事の内容や職場の雰囲気、毎日乗る電車から眺める景色など、すべて新鮮な気持ちで出勤している。車内で見かける真新しいスーツを着た若者たちの希望に溢れた声が聞こえる。5月になり、仕事や新しい環境に慣れてきた頃だろう▼私自身は電車に揺られながら、今までお世話になってきた職場を振り返り、これからはどんなことが待ち受けているのかと不安な気持ちが入り交じる一方、仕事を始めて多くの人と出会い、いろいろなことを学び、教えてもらった数多くのことを思い起こす。緊張しながら出勤したことや、初めての一人暮らしなどを思い出すと15年が経過したことを改めて実感する▼学生から社会人、転職や転勤など、人には転機があり、どの時にも仲間がいることで、影響を受ける。そして、仲間からたくさんことを学び、きっかけ一つで知識の幅も広がる。また逆の立場になった時、それもまた然りである▼環境が変わった私にとって今、尊敬する人がかけてくれた「信念を持って、ブレてはいけない」という言葉が心に染みている

(K・H)

